

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続的可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル あぐりスクールJA名 佐野（栃木県）

1 動機 (経緯)	・食農教育の一環として次世代の子供たちに実際の農業体験をしてもらい、その実体験を通して食と農の重要性を学んでもらうための取組
2 概要	・JA佐野管内の小学生を対象に月に1回（5月開講、1月閉講）の体験学習内容としては、米と季節の野菜の種まきから収穫までを行う。 また、実際に実った収穫物を子供たちと一緒に調理し、食べる。 そのほか、夏には梨狩り、デイキャンプ等野外活動も行う。
3 成果 (効果)	・現代の子供たちは、食べ物はスーパー等で売っている姿しか知らず、作物がどんな風に育ち、実るのか知らない子供も多い。そんな子供たちにも実際、目にし、触り、体験することで、どんな風に育つのか、また、育てるにはどれだけの人の労力がかかっているのかを理解してもらえるようになった。 ・子供たちはもちろん、若い世代の親たちにもJAの活動を知ってもらえ、身近に感じて頂けるようになった。
4 今後の 予定（課題）	・今年で活動6年目となったが、参加してもらえる子供も毎年同じメンバーが多い。幅広く認知されるようなPRも検討したい。 ・子供だけでなく、親との接点ができるような企画（婦人会、こども会等）なども検討したい。